

# 弥生まち協だより

平成31年1月31日 発行  
弥生まちづくり協議会事務局



## 新年明けまして おめでとうございます

### 『年頭の挨拶』

弥生まちづくり協議会

会長 福井 裕

皆様には、清々しい新春をお迎えのことと心よりお喜び申し上げます。

旧年中は、当会の活動にご理解とご支援ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、近年弥生が丘も高齢化が進行し、地域活動の継続と担い手探しに困窮しています。

一方、生活弱者に寄りそった支援が今後の課題です。ただ行政も厳しい財政状況下にあります。

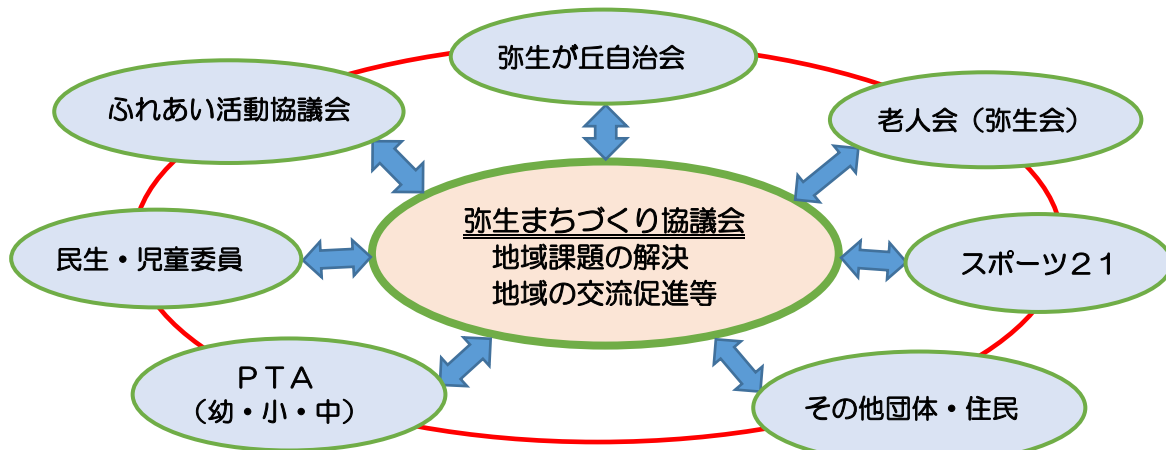
「できることは、地域でやる」を旗印に、個々に対処していく所存です。自治会や「まち協」の構成団体と協働して『安心・安全で明るい・活力ある』まちづくりを皆様とともに目指して参りたいと存じます。

本年も、皆さまの深いご理解とお力添えをよろしくお願い申し上げます。

平成最後の年が、皆様にとって良き一年となりますよう、お祈り申し上げます。

(初日の出：4丁目児童公園より)

「弥生まちづくり協議会」の  
概念・構成イメージ



## 弥生のミステリースポット『シュライン通り』

3丁目児童公園から東へ向い弥生小とやよい幼稚園の間を通り、深田公園へと通じる「**シュライン通り**」地域の方が日常買い物、散歩、通勤・通学等によく利用されている小径です

「シュライン通り」の意味はその昔、行者さんが修行に行くのに通った道だそうです。ニュータウン開発前の現地は、アカマツ林の小高い丘で、修行僧の道はもちろんありませんでしたが、県が開発時、深田公園を「鎮守の森」に見立て、そこへ通じる道として「シュライン通り」と命名したそうです。昔にタイムスリップし一度行者さんになった気持ちでゆっくりと散歩してみてください。

休憩のための「あずま屋」や修行道を模した石柱があちこちに建っています



あずま家でちょっと休憩



小雪舞うシュライン通りを行く行者さん



弥生まちづくり協議会の支援行事の1つとして、1月13日(日)「**とんど焼き**」が実施されました。少年野球(旧弥生エース)コーチOBの有志の方々が実行委員会を結成されお世話していただきました。参加者約200名。今年で3回目となり、多くの地域の方がしめ縄、松飾り、書初めを持ってこられるようになりました。中には普段、コミセンでお見かけしない方も何人もお越し頂き、豚汁をいただきながら参加者同士の交流が図られました。ちなみに豚汁250杯は昼前には完売になりました。



### ～フラワータウン（弥生が丘）の誕生～

今、私たちが生活しているフラワータウン（弥生が丘）は、今から約40年程前に兵庫県により開発が始まりました。昭和57年には造成工事が始まり、武庫が丘、狭間が丘の一部ではすでに分譲が開始されていたそうです。

弥生が丘の分譲開始は昭和61年、2丁目からスタートしました。ちなみに、弥生が丘に決まる以前の地名の候補としては「朝日が丘、希望が丘…」等があったそうです。(以下は三田市から提供をいただいた開発当初の写真です)



人と自然の博物館（弥生が丘6丁目）の開発工事の様子  
左：当初は単なる歩道橋（今は人博の屋上通路） 中：工事中 右：現在の人博

## ＝弥生コミセン～弥生が丘変電所間の空き地の整備完了！＝

三田市「まちづくり提案制度」の第1号の適用を受け「県民まちなみ緑化事業制度」を利用し、フラワータウン開発当初から約30年間未利用となっていた空き地（約1,600㎡）を一昨年より弥生まち協が主体に整備をしてきました。

予定していた工事がこの2月に完了し、4月にグランドオープンの予定です。住民の皆さんや、弥生小3年生から応募いただいた命名案から選考し、親しみのある素敵な公園名をつける予定です。

利用例として、芝生の上でのグランドゴルフ、桜の木の下で花見、バーベキューパーティー、ニュースポーツ、青空市・・・利用希望案をコミセン内、弥生まち協事務局までお寄せください



グランドゴルフの試し打ち

### 弥生まち協2019年度事業予定 (主催事業)

- ・定期総会（5月）
- ・多世代交流バス旅行（10月）
- ・空き地のオープン（4月）
- ・街区公園（2・3丁目児童公園）の除草作業（～3回）
- ・まち協だよりの発行（年2・3回程度）

### 編集後記

「弥生まち協だよりの第2号」ご覧いただき、いかがでしたでしょうか？

### フラワータウン

（弥生が丘）の開発の歴史、弥生のスポット空き地の整備、とんと焼・・・等々で、私たちが生活しているこの弥生が丘に少しでも興味をお持ちいただき、愛着を感じ、誇りを持っていただければと思います編集しました

皆さんと共に、少子高齢化の進む弥生が丘の将来の姿を考え、次世代に素晴らしい環境の弥生が丘を引き継いでゆきたいものです

『まち協だよりの』は住民の皆さんと一緒に紙面を創り上げて行きたいと思っております。まち中にある情報（ネタ）をメール、FAX、ポストイン等で弥生コミセン（まち協事務局）までぜひお寄せください（☎5621-0434）お声かけていただければ取材にお邪魔します。

三十一年一月三十一日  
弥生まちづくり協議会  
事務局（T・N記）